

令和7年度 学校評価シート（第二中学校）

＜学校経営方針の重点＞			
1 学習指導の充実	2 生活・進路指導の充実		
3 情操教育の充実	4 校内・地域との連携		

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	学校関係者評価記入欄		学校の見解と今後の方向性
							評価	コメント	
確かな学力	基礎・基本的な学力の定着と向上	授業の充実と指導方法の工夫・改善	授業の最初に学習目標を明確に示すと共に、振り返りやまとめをしっかりと行う。	B	学習目標の提示・振り返りやまとめは、全ての教科で意識することができていたが、実践できないときがあった。	全ての授業で必ず学習目標を明示し、目標に沿って理解できたかどうかの振り返りやまとめを行うことにより、授業内で学習の定着度を高めていく。	B	・目標に沿って振り返りやまとめを行い、生徒の自主性を引き出し、学習定着度が高まるよう指導をお願いします。 ・授業の様子を見ると、学習目標を明確に示され取り組んでいるように感じた。	学習目標を明確に提示し、生徒一人一人が自身の成長を実感し、自ら学びを続けられるように振り返りとまとめを大切に授業改善に取り組む。
			既習内容・重要事項の定着を図る小テストやプリントの充実を図る。	B	小テストや補充プリントの工夫により、理解度の把握や苦手分野の特定、学習意欲の向上などを確認し、教員の指導改善につなげている。	既習内容・重要事項の定着に小テストやプリントの充実・活用は欠かせない。教科の特性もあるが、より一層の充実を図っていく。	B	・小テスト、プリントの活用で学力の向上を図ると同時に生徒のやる気を引き出す指導をお願いします。 ・実技の期末テスト等の問題文が分かりづらいとの生徒の声がある。 ・学力向上に向けて小テストやプリントの活用がされている。 ・ステップアップの時間に分からない問題があると、授業で使ったプリントで復習している生徒がいます。小テストの前は、テストに備えて学習している姿を見ます。先生方の努力の工夫が感じられます。	小テストや単元テストを活用し、授業で学んだ内容がどれくらい身に付いているかを定期的に確認していく。プリントの工夫により、基礎学力を高めるための学習補助の役割と興味関心を広げる情報伝達の役割等で活用していく。
			GIGA スクール構想に則り、ICT（タブレット、電子黒板など）の積極的な活用を図る。	B	令和5年度、青梅市のICT推進校として実践を積んだ結果、Aが42%、Bが35%とICTを積極的に活用できるようになってきている。	ICT活用の校内研修を積み重ね、更に有効な活用方法を全教科、領域で模索していく。他校との連携も視野に入れて取り組んでいく。	B	・推進校の実践を生かし、GIGAスクール、ICTの取り組みが定着進展するようお願いします。 ・ICTを全教科で更に活用してほしい。 ・タブレットによる学習が定着してきたように感じる。さらなる活用が期待される。 ・電子黒板、タブレットの活用は、先生や生徒も慣れてきているように感じます。引き続きICTの活用を進めてもらいたい。	ICTの活用が生徒の関心、意欲、態度の向上につなげ、理解度や興味に合わせ、自発的な学習を促していく。教員の研修強化や指導方法の開発に努めていく。
規範意識と社会性	人権尊重教育の推進と丁寧な進路指導	生徒の人権を尊重した指導と積極的かつ丁寧な進路指導	学校いじめ防止基本方針に則り、年4回のいじめアンケートを活用して、いじめの未然防止・早期解決を図る。	A	いじめアンケートの実施、休み時間の教員の巡回、毎週の実行委員会において日頃からのいじめかどうかにこだわらず、指導すべきこと、支援すべきことに取り組んでいく。	いじめ研修を毎月実施するとともに、毎週いじめ対策委員会において日頃からのいじめかどうかにこだわらず、指導すべきこと、支援すべきことに取り組んでいく。	A	・アンケート、いじめ防止対策委員会での取り組みをお願いします。 ・情報入手（目配り、気配り）の取り組みをお願いします。 ・他県で中学、高校でのいじめの動画が流れる事件があった。このことを受けて、二中でも未然防止の取り組みが図れるとよい。 ・学校の雰囲気は落ち着いていて、いじめに対する対策を今後も継続してほしい。	いじめは絶対に許されないことであるという視点を常にもち、いじめがどうかに関わらず、改善策を常に考えながら、丁寧な指導、支援に取り組んでいく。
			学校生活のあらゆる場面で、挨拶・言葉づかい・態度など社会性を意識した指導を行う。	A	全体的に落ち着いた学校生活を過ごすことができています。生徒会主体の「あいさつ運動」の輪が広がっている。継続して社会性を意識して指導を行う必要がある。	より豊かな生活を送るために、今後も学校生活のあらゆる場面で当たり前のことができるよう取り組んでいく。生徒会やPTA主催の挨拶運動をより発展させていく。	A	・生徒会、PTAのあいさつ運動等で挨拶、言葉遣い、社会生活の定着が向えます。「校風」にする取り組みへの指導をお願いします。 ・継続的に挨拶、言葉遣い、態度等の指導をお願いします。また、家庭での教育も必要と思います。 ・学校の雰囲気がとても良く、気持ちの良い挨拶ができています。 ・来校時にすれ違う時、必ず挨拶をしてくれます。先生と話をしている生徒の言葉遣いもきちんとしていて、とても感じがよいです。	生徒会、有志の生徒による毎月のあいさつ運動が定着してきた。「二中と言えばあいさつ」と意識する生徒も多くなってきた。今後も人間性やコミュニケーション力の育成を重視して指導に取り組む。また、教員自らも言葉遣いには気を付けていく。
			丁寧な進路指導（進学、就職等）と発達段階に合った進路学習（職場体験、職業学習等）を行う。	B	職業講話や職場体験、上級学校の先生の話や発達段階に応じた指導を予定通り行い、進路に向けての意識づけを行うことができた。進路指導については具体的な丁寧に取り組んでいるところである。	今後も生徒に将来の希望をもたせ、意欲的によりよい進路選択ができるよう発達段階に沿った進路学習を進めていく。3年生においては夢や希望を大切にしながらも現実を直視した進路指導を丁寧に行っていく。	B	・職業講話、職場体験など積極的に取り組んでいる様子が向えます。進路は生徒の夢や希望の実現に向けた最大の課題です。生徒の考えをよく聞き、丁寧な指導をお願いします。 ・今後も今まで以上の丁寧な指導をお願いします。 ・生徒一人一人の進路に向けて、とても丁寧に指導していただいているが、中3になる前の中2のうちから指導していただけるとさらに良いと思う。	今後も職業講話、職場体験をはじめとして、将来を展望させるキャリア教育としての進路学習に取り組んでいく。目の前の進路指導にも、生徒に寄り添って、適切な目標の設定ができるように個別に丁寧に取り組んでいく。

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	学校関係者 評価記入欄		学校の見解と 今後の方向性
							評価	コメント	
豊かな心と体の健康	心の教育の推進と体の健康の増進	豊かな心と体の健康を育むための自主的・自発的活動の推進	不登校生徒に対し、校内委員会で情報交換を密にし、学校・学年体制で保護者・関係諸機関とも連携して粘り強く支援を行う。	B	本人・保護者に定期的に連絡を取り、関係諸機関と連携しながら組織的に取り組んだ。行事や面談などに参加できた生徒や少しずつ出席数が増えてきた生徒など、その成果が現れてきた生徒も出てきた。	週1回の校内委員会で情報を共有し、単に出席を促す指導ではなく、なぜ学校に来られないのかに目を向け、保護者・関係諸機関と連携しながら、一人一人に合ったよりよい解決策を考え支援していく。	B	・校内委員会も頻繁に行われている。不登校生徒は社会的な課題です。粘り強く取り組んで不登校生徒への支援をお願いします。 ・学校としてはいろいろな支援をさせていただいていると思います。報道によると在籍クラスとは別に教室を設け、不登校生徒が登校するようになったとあります。参考にしてください。 ・不登校対策がなかなか見えない。個別対応なのは理解できるが周知されるとよい。 ・不登校生徒の事情はそれぞれだと思いますが、定期的に連絡を取ったり、関係機関に繋げたり、継続的な対応をお願いします。	今年度は、不登校巡回教員、登校支援員の活用により関係機関につながった生徒が多い。学校行事等への参加の機会を定期的に促し、保護者と連携して一人一人にあった対応策、解決策を考え、登校支援室や教育相談所、ふれあい学級（適応指導教室）など外部機関も活用して組織的に支援していく。
			SDGsの意識を高め、省エネ、差別・偏見の防止など、身近にできることの実践に取り組む。	B	学年によってはSDGsについて学んだ後、個人個人に関連させた目標をもたせ、実践への意識を高めることができた。	各学年の取り組みをもっと学校全体で共有して、効果的な工夫や取り組みは学校全体に広げていく。	B	身近な課題から実践して意識の向上を高める取り組みへの指導をお願いします。 ・学年それぞれの取り組みではなく、学校としての明確な計画を示すと家庭も巻き込んで推進されると思う。	学校として行動目標を定め、実行するなど、自ら課題解決に取り組む力を育み、持続可能な社会づくりの担い手を育成する。
			行事（運動会等）や委員会・係活動、部活動を通して、健全育成を推進する。	A	生徒主体での学校行事に取り組み、各活動も活発になり、生徒の成長に大きく貢献することができている。	今後も行事や委員会・係活動、部活動などを通して、生徒が主体となり、自分の可能性やよさを引き出し、健全育成を推進していく。	A	生徒主体の活動は、自分の可能性や良さを引き出すことが経験となっています。失敗を恐れず積極的な行動ができる生徒への指導をお願いします。 ・運動会、合唱コンクールを拝見し、生徒の頑張りや努力、仲間との協力などがとてもよく伝わってきた。一人一人の良さが集まり、とても素敵な素晴らしい時間で、感動しました。 ・行事の場面での生徒の主体的な取組を見て、とても成長を感じる。 ・生徒たちが運動会、合唱コンクールなどの行事に熱意をもって参加していたり、委員会や部活動、習い事に真面目に取り組んでいた姿が良かった。	学校行事等を通して生徒が主体的に取り組める集団作りができてきている。今後は、生徒が企画や運営に積極的に関わることで、協調性や達成感などを得られる活動を増やしていく。
校内・地域との連携	学級・学年経営の充実と保護者・地域との連携	保護者・地域との連携の強化	学級間、学年間で情報を共有するとともに、ホームページ、学校・学年通信などで情報を発信し、開かれた学校づくりに努める。	A	行事や日常の授業の様子等、ホームページでの情報発信を増やした。学年通信は各学年の生徒の様子や行事の取組などについてタイムリーに発信することができた。	近年の状況を鑑みて、個人情報保護法の観点から、ホームページの扱いは難しくなりつつあるが、保護者への協力を得ながら、情報発信の機会を増やしていく。	A	・情報発信で学校、保護者、生徒が情報を共有する学校づくりを目指すようお願いします。 ・学校の様子や情報がとても詳しく、分かりやすく発信していただいているので、親としても安心で、有難いです。 ・HPの更新は、どのように進んでいるかわからない部分がある。 ・学年通信は行事や各学年の様子が細かく載せられている。	今後も個人情報の扱いには細心の注意を払いながら、各種によりなどで情報を発信するとともに、ホームページやメールもその特性を生かして効果的かつ安全に活用していく。
			保護者からの連絡や相談に丁寧に対応する。	A	保護者からの連絡や相談に対して、常に丁寧な対応を心がけてきている。	学校教育における家庭との連携において基本かつ重要な項目であり、今後も丁寧な対応を心がけていく。	A	・相談は多様になっていると思いますが、申出者に添って引き続いて丁寧な対応をお願いします。 ・とても迅速で分かりやすく、いつも非常に丁寧な対応をさせていただいております。 ・通常学級と特別支援学級との関わりが学校として一貫しているか見えない。	保護者からの連絡や相談に丁寧に対応することは、家庭と学校の連携の基本であり、事後の連絡も含め、これからはしっかりと取り組んでいく。
			地域と共に歩む意識を指導し、地域活動への生徒の積極的な参加を促す。	B	近年、地域行事が縮小される中、具体的な関わり方や学校が求めていることが明確に伝えきれない部分があり、生徒へ働きかけが十分にできなかった。	地域と学校との間にスムーズな情報交換の仕組みを構築し、生徒の地域活動への参加を今後も促していく。	B	・自治会への加入減少等もあり地域の絆は希薄になっているかと思えます。お祭り、運動会、文化祭等の行事が行われています。関心を持っていただき、参加をお願いします。 ・第二支会及び自治会との情報交換の仕組みを構築していただきたい。 ・地域と子供たちの関わりは、以前よりも減ってきているように感じます。生徒の地域活動への参加が活発になるとよい。 ・具体的にどのような取組、関わりを想定しているか学校としてのスタンスが知りたい。	地域活動への参加を通じて、生徒に実践的なスキルを身に付けさせ、社会貢献の意識を育むとともに、地域住民との連携を強化していく。
その他重点	組織的な学校運営	チームワークを大切にする組織	主幹・主任・担当を中心に計画的かつ組織的に教育活動に取り組む。	B	教職員間の連携を密にし、運営委員会を軸に組織的に学年、学校として教育活動に取り組むことができている。	今後も担当者任せにせず、組織的な取組で、個人の負担を軽減しながらも高い成果を目指していく。	B	・教職員の負担は増加の傾向と見られます。組織を活用して負担軽減で成果を目指す取り組みをお願いします。 ・通常学級と特別支援学級の連携強化をお願いします。 ・ステップアップの時に教員間でのフォローや連携されている様子を感じます。担任の先生だけでなく、いろいろな先生と関わることで、生徒たちも成長していくと思います。	教員一人一人の経験やもっている特性を生かして、今後も学校として、組織的に教育活動に取り組んでいく。
			サービス規律の厳守	A	教育公務員としての自覚をもち、個人情報の紛失・漏洩のない管理と冷静な対応と粘り強い指導を行い、体罰・暴言の防止を徹底する。	サービス事故防止研修やミニ研修などを通して体罰・暴言の防止に対する意識を高め、防止の徹底に努めてきている。	教育公務員として信頼していただけよう、全員が自己評価Aとなるように、より一層意識を高くもち、体罰・暴言の防止に努めていく。	A	・個人情報、体罰防止等について「A」評価で安心しました。引き続き「A」評価に努めるようお願いします。 ・近年ニュースでもたびたび上げられることなので、一人一人の生徒に対して引き続き丁寧な関わりをお願いします。

4段階評価 A：目標達成、B：ある程度達成、C：もう少し、D：できなかった